

エッセイ:森本清さんを偲ぶ

入社後に電話にて森本清さんが亡くなったことを知らされました。

ええー嘘でしょう？早すぎる！信じられない電話でした。森本さんと初めてお会いしたのは入社とほぼ同時だったと記憶しています。協和発酵の森本さんは博士号にも劣らない国家資格の「技術士(機械工学)」を有し、取得された特許数も多く製剤工学の分野では著名な方とのことでした。当時の私はアメリカでポスドクを終えて帰国したばかりの専門は医薬品化学であり、製剤工学はほぼ無知で薬剤師国家試験以来の分野でした。そういえば「オリフィス径」、「アインシュタインの式」って確か学部で習ったような気がするな？といった感じでした。

森本さんとの思い出は、「特許の表彰で今度社長賞を受けることになった」と嬉しそうに話をしてくれたこと、市販のカッターを使ってテーブルの上で錠剤を正確に二つに手で割ったこと、包材を手で破っただけでアルミ含量を言い当てたこと、製剤化で検討すべきこと、量産化で検討すべきこと、不良品が多発する生産組織体制に共通すること、生産設備での共鳴現象の恐ろしさのこと、今までの製剤工学の変遷とこれからの製剤工学のこと、このようにご教示いただいた思い出は広範かつ枚挙にいとまがありません。またゴルフのお昼に講義を受けたバンカーからのボールの出し方と粉体輸送を絡めた流体力学の話も記憶しています。森本さんは実に厳しい方でもありました。しかし、サッパリされた方で怒られると不思議にスッキリした感じでした。

森本さんはマーズレン ES 錠の開発で弊社と共同研究させていただいた協和発酵を早期退社された後も、Lab. Particle、そしてノッター・ジャパンと長年に亘り、ほぼ知識ゼロから製剤工学をまるで弟のように頻繁にお会いしていただきご指導・ご鞭撻を賜りました。心より厚く御礼を申し上げます。また森本さんの突然の訃報は多くの友人に悲しみを与える結果となりました。御葬儀に参列させていただきましたが、実に多彩で多くの参列者がおられ生前のお付き合いの広さを感じました。残念で仕方ありません。

今後私達は森本さんが残してくれた製剤工学の技術や知識を活かして、これから前に前へと精一杯に進んで行きたいと思います。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

寿製薬株式会社 代表取締役社長 富山 泰